

09 日本国特許庁 (JP)

01 実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭58—110174

Int. Cl. <sup>3</sup>	識別記号	庁内整理番号	公開 昭和58年(1983)7月27日
E 06 B 3 36		6462—2E	
A 47 B 67 00		6759—3B	
A 47 K 1 00		7017—2D	審査請求 有
F 06 B 3 48		6462—2F	

(全 頁)

54 洗面化粧台における扉開閉装置

21 実 願 昭57—6330

22 出 願 昭57(1982)1月22日

72 考 案 者 角矢有司

大阪市南区長堀橋筋2丁目1番

出 願 人 地タカラベルモント株式会社内  
タカラベルモント株式会社  
大阪市南区長堀橋筋2丁目1番  
地  
代 理 人 弁理士 滝野秀雄

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

洗面化粧台における扉開閉装置

### 2. 実用新案登録請求の範囲

内側ヒンジを構成する一側板にサブミラーを取付けると共に内側ヒンジを構成する他側板の曲折板部を戸棚を構成する内側縦框に離開可能に当接し、更に外側ヒンジを構成する一側板を戸棚を構成する外側縦框に固着すると共に外側ヒンジを構成する他側板の曲折板部と前記内側ヒンジの曲折板部とを連結板で連結して成ることを特徴とする洗面化粧台における扉開閉装置。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は洗面化粧台において、メインミラーの一側或は両側にサブミラーを有する戸棚用扉の開閉装置に関するものである。

従来の洗面化粧台における扉開閉装置を、第1、2図の所謂三面鏡を有するものについて説明すれば、第1、2図においてaは洗面ボウル、bはメインミラー、c、cはメイン

ミラー b の左右側に設けられた戸棚、d , d はサブミラーを示し、（注、扉の表面に取付けられている。）そのサブミラー d , d の扉は三面鏡として機能を得るために、左右の戸棚 o , o の相對向する内側にヒンジ e で取付けられていた。しかしこのような扉においては戸棚 o 内より所望の物品を取出したり、取出したものを納めたりする際には、ミラー d を有する扉を第 2 図の仮想線の如く少くとも 90° 以上開らくか、或は使用者が上体を左右に曲げたり、身体を左右に移動したりしなければ物品の出し入れを良好になし得ず、換言すれば、戸棚内に納められた複数物品のうちの必要とする物品を取出したり、所定の個所に納めたりするためには、目視可能なるように前記の如くしなければならず、又上体を曲げたり身体を移動したりしないで、扉を 90° 以上開いた場合にはメーンミラーの一部が機能しなくなつたり、洗面等にも支障を及ぼす等の不都合が生じたものであつた。

本考案は叙上の点に着目して成されたもので、

その目的は、戸棚の前面に設けた扉をメーンミラーの方向に回動することにより従来の三面鏡及び二面鏡と同様に使用し得ると共に前配と反対方向に回動して扉を開き、これにより戸棚内の物品を取出したり、取出した物品を納めたることが出来、従つて従来のものの如く戸棚内の物品を取出したり、取出した物品を納めたりする際に扉をメーンミラーの方向に大きく開いたり或は上体を戸棚の方向に曲げたり、身体を戸棚の方向に移動したりする必要がなく、即ち極めて利便に使用した得る洗面化粧台における扉開閉装置を提供するにある。

更に本考案の他の目的は、戸棚内の物品が取出し収納可能なように扉が開かれた状態において洗面ボウル及びメーンミラーを使用し得る洗面化粧台における扉開閉装置を提供するにある。

次に、上記の目的を達成し得る本考案の一実施例を第3～6図について詳細に説明する。

第3図は正面図、第4図は概念平面図、第5図は一部の横断平面図、第6図は左側の扉を全面的に開いた場合の一部の正面図で、1は洗面台、2

は排水孔 2 a を有する洗面ボウル、(注、図示されていないが従来のもと同様に栓が設けられている。) 3 は湯湯コック、4 は冷水コック、5 はミキシングコック、6 はメーンミラー、6 a はメーンミラー 6 の背板、7 はメーンミラー 6 の左右に設けられた戸棚 7 a , 7 b は戸棚 7 を構成する内側縦樑と外側縦樑、7 c は戸棚 7 内に設けられた複数の棚板を示すが、これ等は従来より周知の洗面化粧台と同様であるから、その詳細を説明はこれを省略する。

D は戸棚 7 の前面に設けられた扉を示し、次の如く構成されている。即ち第 5 , 6 図において 8 はサブミラー、9 はサブミラー 8 が固着された裏板、10 は内側ヒンジ、11 は外側ヒンジを示し、内側ヒンジ 10 を構成する一側板 10 a に固着され、(例えばねじ 12 により) 同様に内側ヒンジ 10 を構成する他側板 10 b の曲折板部 10 b<sub>1</sub> は内側縦樑 7 a に離脱可能に当接されている。

外側ヒンジ 11 を構成する一側板 11 a の曲折板部 11 a<sub>1</sub> は外側縦樑 7 b に固着され、(例え

ばねじ 13 により ) ) 同様に外側ヒンジ 11 を構成する他側板 11b の曲折板部 11b<sub>1</sub> は前記された内側ヒンジ 10 の曲折板部 10b<sub>1</sub> とが連結板 14 により固着されている。そして斯く構成された内側ヒンジ 10 と外側ヒンジ 11 が戸棚 7, 8 の上下に設けられている。

叙上の構成において、メインミラー 6 との関連において、左側のサブミラー 8 を使用しようとする場合は、第 5 図の如く扉 D を矢印 X の方向に引く、しかるときは扉 D は内側ヒンジ 10 を支点として仮想線 D<sub>1</sub> の如く開られる。次に左側の戸棚 7 内の物品を取出そうとする場合は、扉 D を矢印 Y の方向に引く、しかるときは扉 D は外側ヒンジ 11 を支点として仮想線 D<sub>2</sub> の如く開られ、又前記と反対に操作することにより実線の如く復帰するものである。なお右側の扉 D も前記と同様に作動して第 4 図の仮想線の如くなるものである。

以上、本考案の一実施例について説明したが、本考案は第 4 図における左右何れかの戸棚 7 及びサブミラー D を取除いた所謂二面鏡としても利用

することが出来、又扉 D に取手及び係止構造を設けることもある。

本考案は上記したように成るから、戸棚の前面に設けた扉をメーンミラーの方向に回動することにより従来の三面鏡及び二面鏡と同様に使用し得ると共に前記と反対方向に回動して扉を開き、これにより戸棚内の物品を取出したり、取出した物品を納めたることが出来、従つて従来のものの如く戸棚内の物品を取出したり、取出した物品を納めたりする際に扉をメーンミラーの方向に大きく開いたり或は上体を戸棚の方向に曲げたり、身体を戸棚の方向に移動したりする必要がなく、即ち極めて利便に使用し得られ、又戸棚内の物品が取出し収納可能なように扉が開かれた状態において洗面ボウル及びメーンミラーを使用し得る等の効果を有するものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

第 1 図及び第 2 図は従来の洗面化粧台における扉開閉装置の説明図、第 3 ～ 6 図は本考案に係る洗面化粧台における扉開閉装置の一実施例を示し、

第 3 図は正面図、第 4 図は概念平面図、第 5 図は一部の横断平面図、第 6 図は扉を全面的に開いた場合の一部の正面図である。

D ..... 扉  
7 ..... 戸棚  
7 a ..... 内側縦框  
7 b ..... 外側縦框  
8 ..... サブミラー  
1 0 ..... 内側ヒンジ  
1 0 a ..... 一側板  
1 0 b ..... 他側板  
1 0 b<sub>1</sub> ..... 曲折板部  
1 1 ..... 外側ヒンジ  
1 1 a ..... 一側板  
1 1 b ..... 他側板  
1 1 b<sub>1</sub> ..... 曲折板部  
1 4 ..... 連結板

実用新案登録  
出 願 人

タカラベルモント株式会社

代 理 人

楠 野 秀 雄

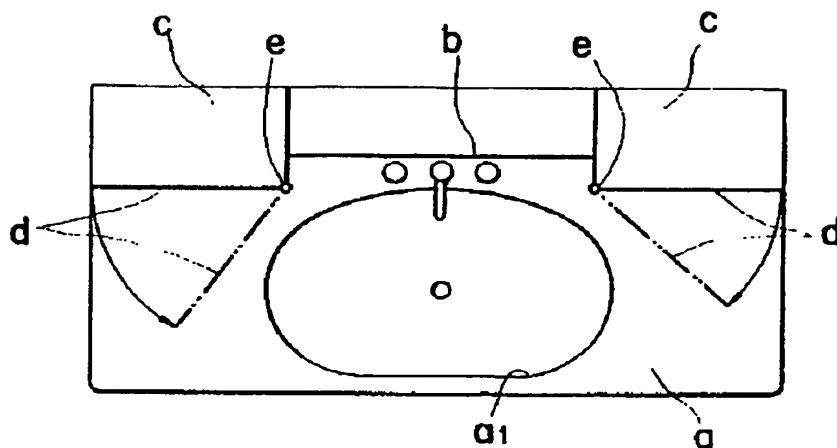


7

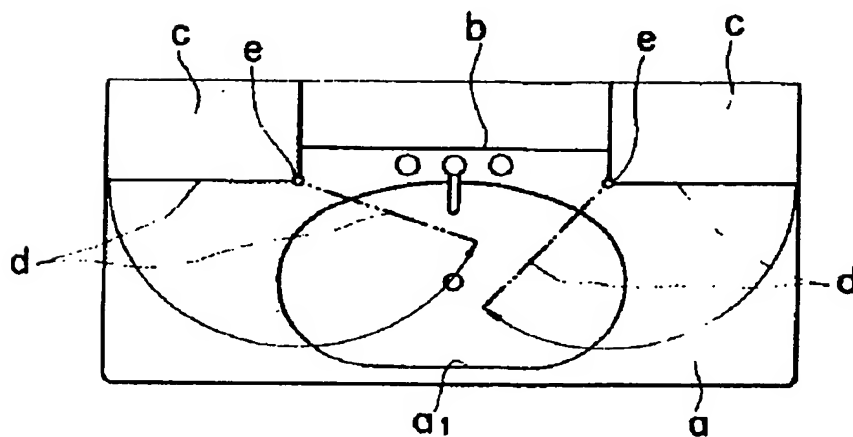
796



第 1 図



第 2 図



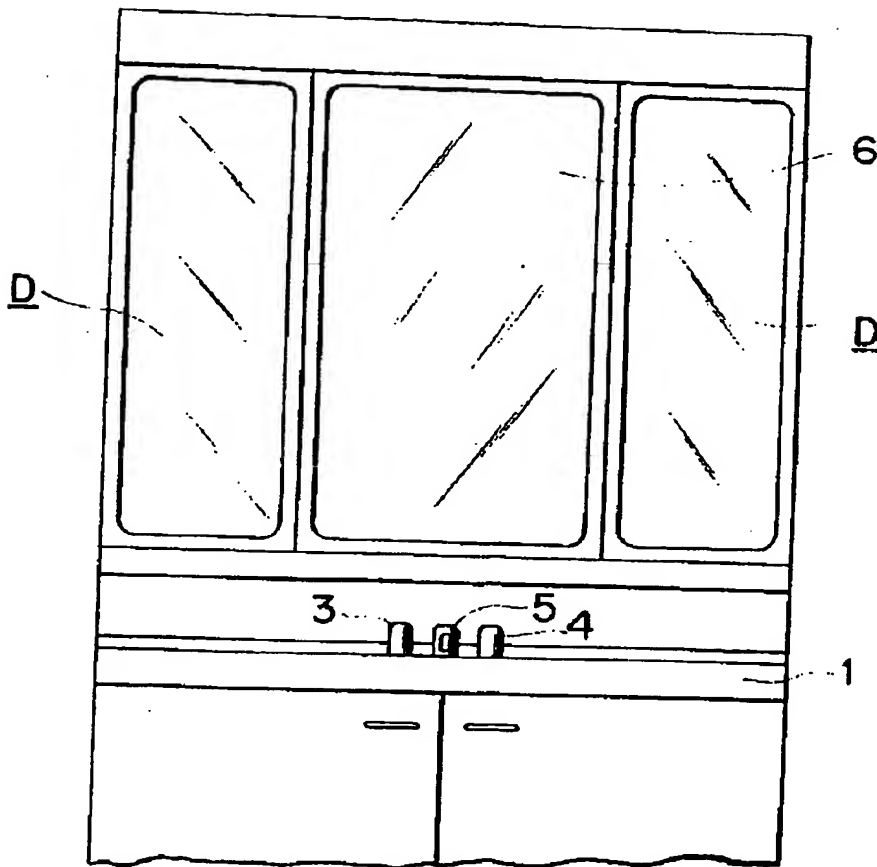
97

実用新案登録出願人 タカラベルモント株式会社  
代 理 人 滝 野 秀 雄

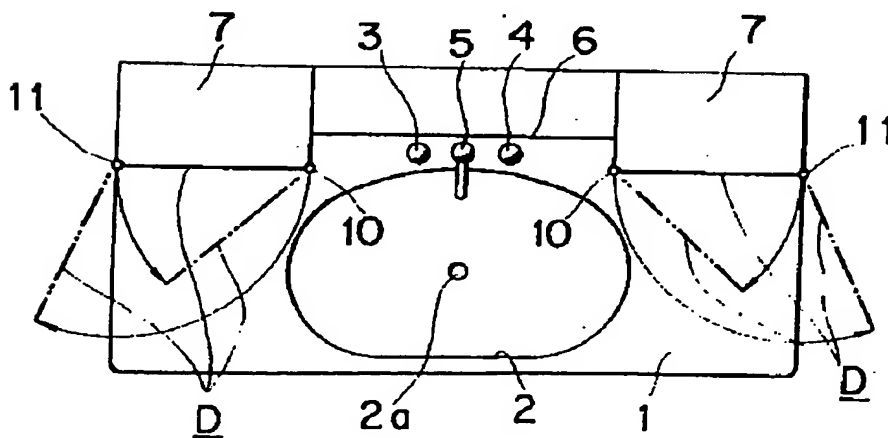
昭和 58 年 11 月 1 日

# 第 3 図

01637(73)



# 第 4 図

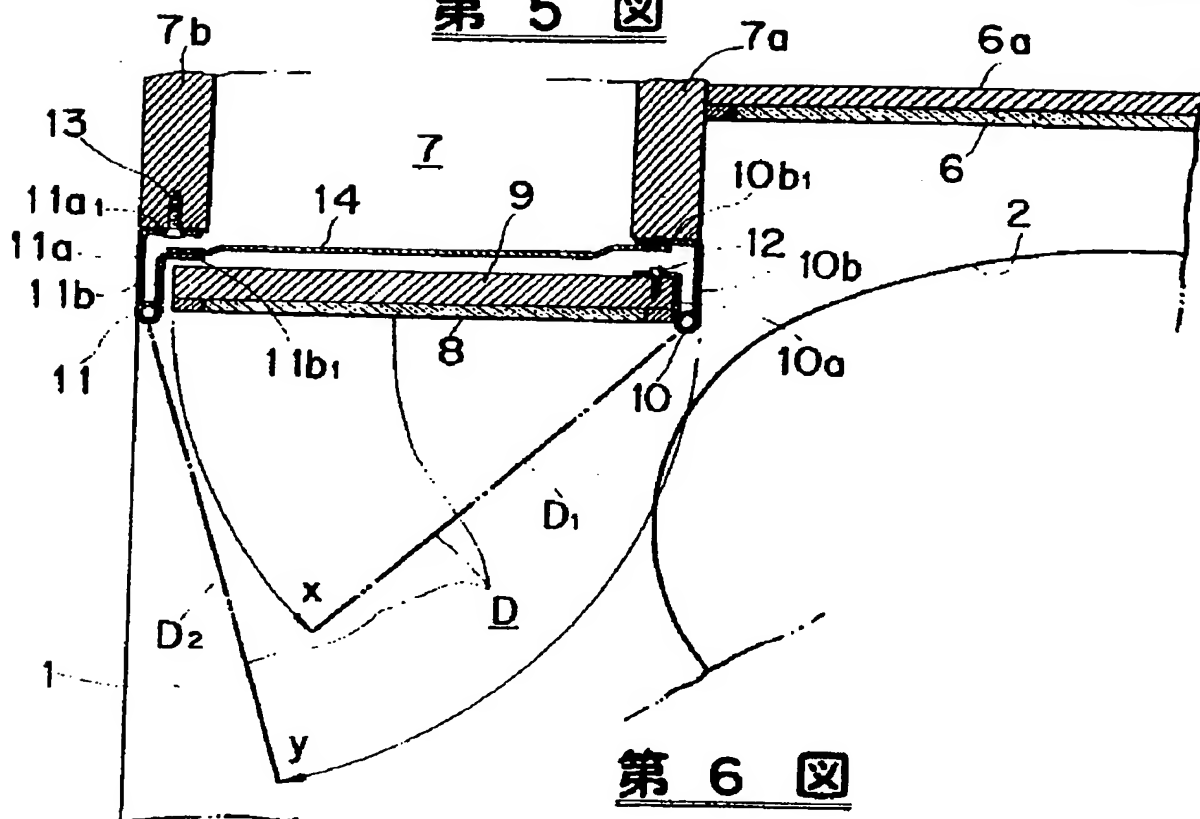


実用新案登録出願人 タカラベルモント株式会社  
代 理 人 瀧 野 秀 雄

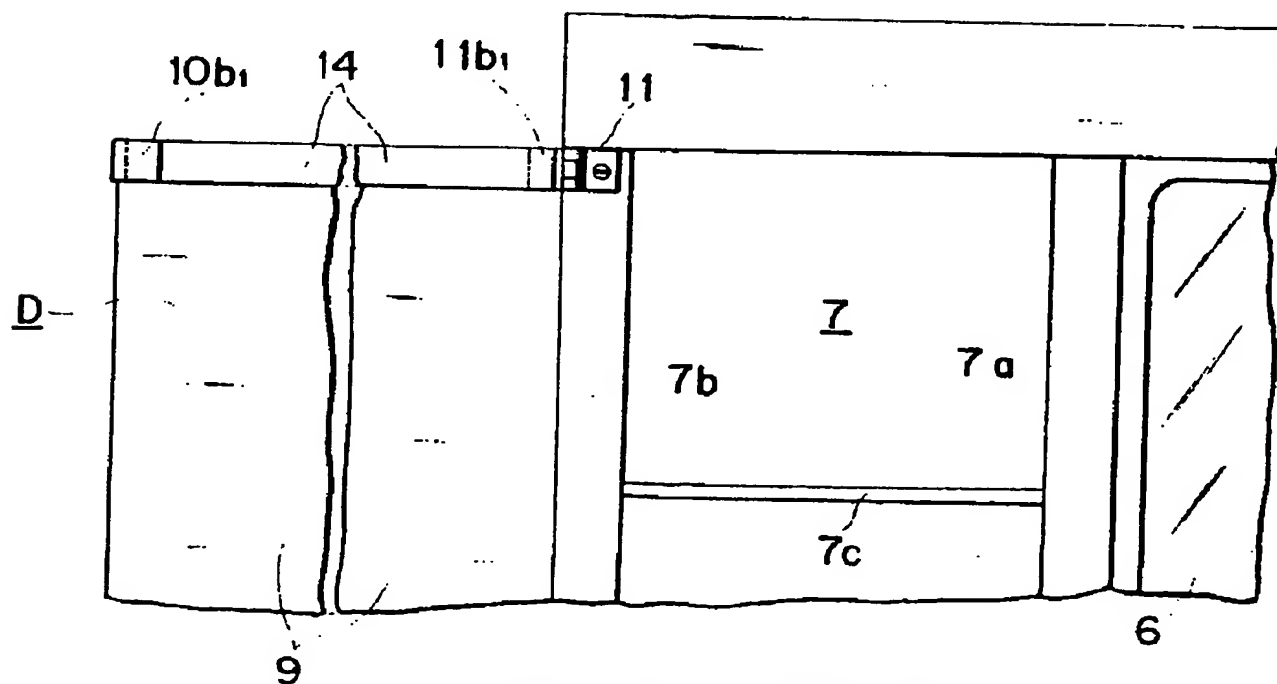
特 許 第 1 1 7 4

61639(2/3)

第 5 図



第 6 図



実用新案登録出願人 タカラベルモント株式会社  
代 理 人 瀧 野 秀 雄

799

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**